

# ● 西北毛 ●

## 教習所指導員が 事故防止を指導

藤岡中央高で教室

藤岡

藤岡中央高(大槻恭子校長)

は18日、藤岡市の同校で交通安全教室を開いた。かぶら自動車

教習所(同市)の指導員4人が講師を務め、全校生徒約430人が講話や実演指導を通して、交通ルールの順守やヘルメット着用の大切さを学んだ。

生活安全委員の生徒がイヤホンをして車の接近に気付きにくい状況などを体験したII写真。ヘルメットの中に水風船を入れて落とす実験では、あごひもを調節して着用することで頭を守れることを学んだ。

同委員の新井悠介さん(15)は「実演で危険性がよく分かった。ヘルメット



の着用を徹底したい」と話した。

(深沢千尋)